

石見海域漁場保全調査 1（江津沖水質調査）

（漁場環境保全対策推進調査事業）

井岡久・石原成嗣・開内洋・田中伸和・村山達朗

1. 研究目的

漁場環境の悪化が予想される水域について、その現状を把握し、資料の蓄積を図る。

2. 研究方法

（1）調査地点及び水層

江津地先 15 点の 1・10m 及び底層。

（2）調査項目

水温、透明度、濁度、浮遊物質（SS）、pH、溶存酸素（DO）、COD、栄養塩類

（3）調査日時

平成 12 年 9 月 21 日

3. 研究結果

水層 (m)	区分	水温 (°C)	塩素量 (‰)	浮遊物質 (ppm)	COD (ppm)	NH ₄ -N (μg-at/ℓ)	PO ₄ -P (μg-at/ℓ)	NO ₂ -N+NO ₃ -N (μg-at/ℓ)
1	最小値	23.9	16.653	1.3	0.35	0.21	0.00	0.00
	最大値	24.8	18.504	4.6	1.63	1.57	0.02	3.26
	平均値	24.4	18.018	2.6	0.98	0.72	0.01	0.46
10	最小値	23.6	17.578	1.4	0.15	0.21	0.00	0.00
	最大値	24.4	18.257	4.0	1.74	1.47	0.07	1.39
	平均値	24.1	18.050	2.6	0.90	0.81	0.02	0.26
底	最小値	22.2	15.975	2.6	0.26	0.10	0.00	0.00
	最大値	24.2	18.257	5.1	1.65	1.05	0.03	0.40
	平均値	23.5	17.722	3.6	1.04	0.50	0.01	0.12

4. 研究成果

昨年までのデータと比較して、近年は調査地点の水質に重大な変化は生じていないことを確認した。